

# タヌキの被害対策について

## タヌキの基礎知識

### タヌキの生態と行動

#### ① 食べ物

◇タヌキは、鳥類・ノネズミ類などの小型動物昆虫、野生果実類などを採食する雑食性です。  
◇農作物はトウモロコシ・トマトのほか果物や果樹の食害が報告されています。木登りはうまくないので、落下果実を食害することが多いですが、木に登って食害する個体もいるようです。



#### ② 生態

##### (生息地)

日本人にはなじみ深い里山の動物です。

平地から亜高山帯までの森林や林縁に広く分布しています。なかでも、クヌギ・コナラ林などの里山や農耕地が多い地域に多く分布しています。

##### (行動時間帯)

夜行性で、昼間は木の根本やくぼみに自分で巣穴を掘り、休息しています。住宅地周辺では、軒下や排水溝なども巣穴として利用します。雑食性で、夜間はほとんど採食活動に費やされます。

##### (行動域)

糞は特定の場所に集中し、ため糞場をつくります。複数の個体が同一のため糞場を利用します。

雄と雌のペアと、その子どもからなる群れをつくり、群れのメンバーと一緒に採食活動を行うので、被害は局所的に大きくなる可能性があります。

#### ③ 繁殖

◇繁殖力は高く、一回の繁殖で平均4から5頭子供を産みます。

# タヌキ狸

本州以南にホンダタヌキ、北海道にエゾタヌキが生息する。水辺の森や下草のある林に棲む。夜行性なのでめつたに見かけないが、人家が近い里山に多く、都市部の家屋の床下などにもいる。イヌ科で嗅覚がすごい。雑食性で、ネズミ・ミミズ・昆虫・カエル・果実や残飯などを食べる。家族で暮らし、春先に四〜六頭の子を産む。

## ちえくらべ

トウモロコシを新聞紙で包んでしまい、トウモロコシのにおいを飛ばないようにするやり方です。

新聞紙は一頁分でトウモロコシ一本といっ

福島

## タヌキ対策 新聞紙で トウモロコシをくるむ

朽木直文

丹精込めて栽培したトウモロコシが、寝ている間にタヌキに食べられてしまった経験はありませんか。

福島県鮫川村の水野ツイさんは、タヌキ対策に何かよい工夫はないものかと思案しました。受粉が終わってひげが茶色になったら



たぐあいに巻いていきます。新聞紙が風で吹き飛ばされないように、新聞紙の上からトウモロコシの葉で実をひとつひとつ大事にしばっていくのだそうです。近所でも、ツイさんのやり方はネットで囲むよりも安上がり！と口コミで伝わっているそうです。ぜひお試しください。今年のお盆は、おいしいおいしいトウモロコシがいつもよりたくさん食べられるかもしれませんね。

一九九九年六月号 あっちの話

津南町<sup>つなん</sup>の安部春男さんの畑では、タヌキの害で困っていました。そんなときに隣の知人から聞いたのが、スーパリーの白いポリの買物袋でタヌキを追い払う方法。「こんなもので？」と半信半疑でしたが、トウモロコシの畑で試してみたところ、被害が全然なくなりました。

やり方はきわめて簡単。ポリ袋の中に砂を半分くらいつめ、口をしばって、手さげ部分をウサギの耳のようにピンと立てる。これを、一畝のトウモロコシ畑を囲むように、一間おきくらいに二五個ほど置いただけです。

「何か、生き物のように見えるのでは」と安部さん。真偽のほどはタヌキにきいてみるとわかりませんが、お困りの方は試してみてもいい。

一九九八年五月号 あっちの話

長野

## 木酢ひもでタヌキよけ バリア

三浦渉

長野県飯田市の田んぼで聞いた話です。

転作田の畑を荒らすタヌキに長年困っていたAさんは、簡単な撃退方法を考案しました。なんと木酢をしみこませたバイスターのひも

で畑を囲うだけです。この時に大事なものは、杭などを使って木酢ひもをはり巡らせるのではなく、ひもを地面にくっつくように置いて、畑を囲ってしまうことです。Aさんによると、タヌキは夜間鼻で地面のにおいをかきながら畑に入ってくるので、木酢ひもで境界がしてあると、それから先には進めなくなるのだそうです。境界のまわりをうろうろ徘徊した足跡が残っていましたが、Aさんのトウモロコシは無事だったそうですよ。

二〇〇一年十二月号 あっちの話

静岡

## ペパーミントでタヌキよけ

こうま・すう

ペパーミント味のガムをほおぼると、口の中にはつかの香りが広がる。人間が好きなこの香りを、動物たちは嫌がるようだ。静岡市丸子の渡辺順一さんはそのことを発見した。

五年前始めた観光ぶどう園。タヌキよけに畑のまわりに網をめぐらしていた。それまで、タヌキの被害は全然なかったのだが、網の周りの雑草がふえたので、草刈りした。その時、雑草と一緒に生えていたペパーミントも取り除いた。すると、その直後にタヌキがぶどう

園に侵入！

「そうか！虫よけ用のペパーミントは、タヌキよけにもなっていたんだ！そういえば散歩の犬もよけて通る。よし！ペパーミントをタヌキ撃退に使おう」

幸いペパーミントは切つてもすぐはえてくる。ペパーミントは一五aのぶどう園のまわりにびっしり植えてある。ぶどうを盗る人間もいるので、網とペパーミントと併用している。また、ペパーミントはぶどうの収穫期の八月前から九月にかけてが生育時期なので都合がいい。

タヌキの被害は全くなかった。風が吹くとにおいが広がり、効果はより大きい。

一九九七年九月号 ちえくらべ

山口

## タヌキをラジオでだますのだ

木挽哲宏

山口県平生町<sup>ひらへ</sup>での鳥獣害の代表はなんといってもタヌキ。大田一利さんも悩まされてきた一人でした。

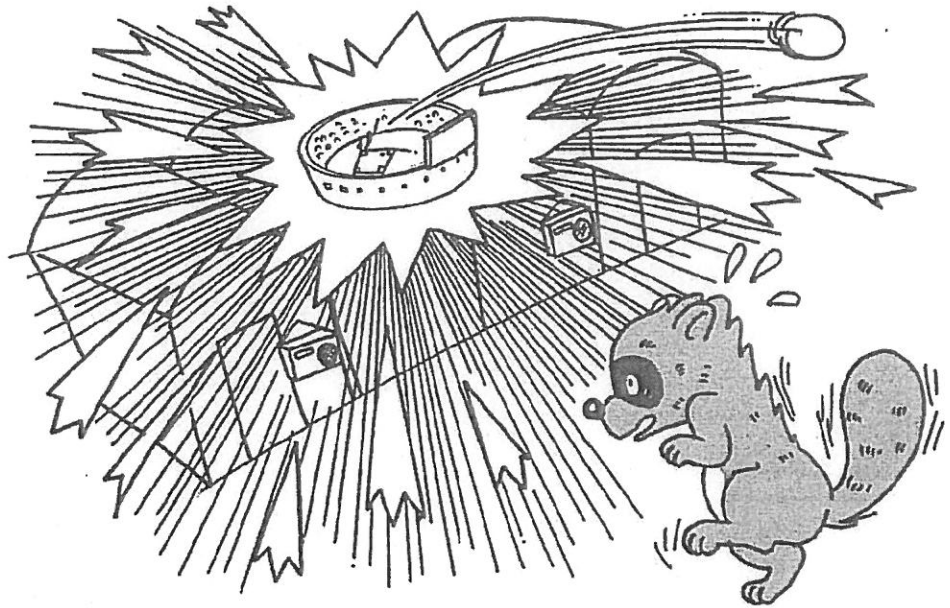
三年前、うっかり夜にイチゴハウスの戸を閉め忘れ、一度侵入を許してしまつたところ、翌日から、戸を閉めておいてもビニールを破って侵入したり、土を掘って入りこんだりと、その年の被害はたいへんなものだったそうです。

そこで考えたのがラジオを鳴らしっぱなしにする方法。四連のハウスの中二箇所を設置し、ハウスから二〇mくらい離れても聞こえる大音量で、日没から日の出までかかるようにタイマーをセットしておきました。

おすすめは野球中継。突然歓声が上がったりして、音の強弱があるのがいいのではないかとのこと。おかげでこの二年間は、被害ゼロだそうです。

タヌキを化かすこの方法、試してみる価値はありそうですね。

二〇〇二年四月号 あっちの話



長崎

## 案山子でタヌキとの知恵比べには勝ったが...

すいか畑を荒らすタヌキやカラスを撃退するおじさんの話です。

小生、脱サラの新米百姓だから怖いもの知

らず。「すいかをつくる」と言ったら、近所の人みんなに馬鹿にされた。いや、親切にアドバイスされた。

「タヌキにやられるよ」

一昔前まで、すいかの名産地と言われた当地だったが、あまりにひどいタヌキの被害に、みんなつくるのをやめてしまっているのだ。

さて、タヌキとの知恵比べだ。人形に見はり番をさせたのである。ただし、ふつうの人形ではだめで、自分とそっくりの人形を作った。それも、関節がすべて動くようにしたので、毎日、ポーズを変えられるのがミソ。

これがばっちり。立ったり、腰掛けたり、しゃがんだり。なにせ、そばを通り過ぎる人間様が、みんな人形と気がつかずにあいさつしていくのだから、タヌキだって、おそらく気味が悪かったに違いない。暴風ネットできちんと囲いもしたが、お陰で被害ゼロ。カラスも遠くからながめていただけ。収穫も上々。しかし、肝心の値段のほう、梅雨時の長雨にたたられて大幅安値。タヌキには勝ったが天気には勝てず、売り上げは予定の半分。「捕らぬ狸の皮算用」でがっくりでした。

一九九六年十一月号 ちえくらべ